



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東
 コード番号 3600 URL https://www.fjx.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)松尾 勇治 (TEL) 075(463)8111
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------------------------|-----|-------------------------|---|------|---|---------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 5,805 | 1.1 | △115 | — | △6 | — | 90 | — |
| 2023年3月期 | 5,742 | 6.0 | △208 | — | △124 | — | △188 | — |
| (注) 包括利益 | 2024年3月期 614百万円 (562.9%) | | 2023年3月期 92百万円 (△43.0%) | | | | | |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|--------------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年3月期 | 65.50 | — | 1.0 | △0.1 | △2.0 |
| 2023年3月期 | △137.28 | — | △2.2 | △1.1 | △3.6 |
| (参考) 持分法投資損益 | 2024年3月期 一百万円 | | 2023年3月期 一百万円 | | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-----------|-------------------|-------|-------------------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 11,572 | 9,992 | 80.2 | 6,743.43 |
| 2023年3月期 | 10,917 | 9,464 | 80.0 | 6,347.89 |
| (参考) 自己資本 | 2024年3月期 9,283百万円 | | 2023年3月期 8,738百万円 | |

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年3月期 | 111 | △94 | △71 | 1,953 |
| 2023年3月期 | 87 | △266 | △76 | 1,974 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 | 68 | △36.4 | 0.8 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 | 68 | 76.3 | 0.8 |
| 2025年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 | | △32.6 | |

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 2,889 | △4.6 | △175 | — | △146 | — | △145 | — | △105.98 |
| 通期 | 5,711 | △1.6 | △282 | — | △198 | — | △210 | — | △153.17 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）—、除外 1社（社名）上海富士克貿易有限公司

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年3月期 | 1,468,093株 | 2023年3月期 | 1,468,093株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期 | 91,485株 | 2023年3月期 | 91,425株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2024年3月期 | 1,376,644株 | 2023年3月期 | 1,376,668株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|------|------|---|------|---|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 2,886 | △3.0 | △130 | — | 39 | — | 42 | — |
| 2023年3月期 | 2,975 | 8.9 | △204 | — | △65 | — | △80 | — |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 30.91 | — |
| 2023年3月期 | △58.17 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|-------|--|-------|--|--------|----------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 銭 | | |
| 2024年3月期 | 8,854 | | 7,859 | | 88.8 | 5,709.67 | | |
| 2023年3月期 | 8,297 | | 7,459 | | 89.9 | 5,418.87 | | |

(参考) 自己資本 2024年3月期 7,859百万円 2023年3月期 7,459百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------|-------|
| 1. 経営成績等の概況 | P. 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | P. 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | P. 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | P. 3 |
| (4) 今後の見通し | P. 3 |
| 2. 企業集団の状況 | P. 4 |
| 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | P. 4 |
| 4. 連結財務諸表及び主な注記 | P. 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | P. 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | P. 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | P. 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 12 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | P. 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 13 |
| (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) | P. 13 |
| (セグメント情報等) | P. 13 |
| (1株当たり情報) | P. 14 |
| (重要な後発事象) | P. 14 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行されて以降、経済活動全般は回復に向かい、特に年明け以降は、株価の上昇傾向や訪日外国人の回復によるインバウンド需要の増加など、さらに明るい兆しを感じられる一方で、円安基調を背景に国内の諸物価の上昇や高止まり傾向は消費マインドに影響を及ぼしており、不安定な国際情勢も加わって、先行きは不透明です。

アパレル・ファッション業界におきましては、コロナ禍中に減少した製品流通在庫の補充生産が一巡したことに加えて、物価高や初冬の暖冬傾向により、消費マインドが低下したこともあって、昨秋以降は、一部を除いて生産抑制の動きが強まりつつあります。また手芸関連業界におきましては、節約志向の高まりによる消費の低迷が続くなど、両分野の縫い糸の商況は一段と厳しさを増す状況となりました。

加えて当社グループの中国事業におきましては、一昨年新型コロナウイルスに対する厳しい防疫措置による販売機会の損失や、その後の日本向け衣料品生産の中国離れなど、コロナ禍の様々な後遺症が続いた上に、同国経済の先行きの不透明感も加わって、回復の兆しが見えない厳しい状況が続きました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、円安傾向に伴う為替換算レートの影響があったにもかかわらず、5,805百万円（前期比1.1%増）にとどまりました。

また、利益面につきましても、一昨年以降実施した国内販売価格の改正や販売品目構成の変化など、増益要因もありましたが、製造コストの高止まりのなか、当社における販売および生産の減少や中国事業の低迷も響いて、営業損失は115百万円（前期は208百万円の損失）、経常損失は6百万円（前期は124百万円の損失）となりました。

なお、前期には、上海地域のロックダウンによる中国子会社の操業停止に伴い、新型コロナウイルス関連損失80百万円を特別損失に計上しましたが、当期には、連結子会社であった上海富士克貿易有限公司の清算に伴う子会社清算益76百万円を特別利益に計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は90百万円（前期は188百万円の損失）となりました。

当連結会計年度におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりです。

日本

当社グループにおきましては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めております。

当期の前半は、コロナ禍の収束と消費の回復に伴い、衣料品の生産も回復基調で推移し、また、自動車生産は当期を通して回復傾向となり、車両内装用縫い糸の受注も大幅に回復しました。しかし当期の後半には、コロナ禍中に減少した衣料品流通在庫の補充生産が一巡したことに加えて、物価高の浸透や初冬の暖冬傾向により、消費マインドが低下したこともあって、特に年明け以降は、衣料品に限られた分野を除いて生産抑制の動きが急速に強まりました。また手芸関連業界におきましては、節約志向の高まりによる消費の低迷が続くなど、衣料用、手芸用の縫い糸の商況は一段と厳しさを増す状況となりました。

このような状況のなか、一昨年以降実施した縫い糸全般の販売価格改正は増収要因となりましたが、当社における販売の低迷もあって当セグメントの売上高は、4,645百万円（前期比3.3%増）にとどまりました。

一方利益面は、価格改正や販売品目構成の変化は増益要因になりましたが、製造コストの高止まりや、当社における販売の低迷や国内工場の稼働率低下も響いて、セグメント損失は17百万円（前期は155百万円の損失）となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当連結会計年度には、2023年1月から12月までの業績が連結されております。

当期前半は、日本向け衣料品は、コロナ禍で減少した流通在庫の補充や消費の回復に伴い、その生産は全般に増加傾向となりましたが、当社グループの中国事業におきましては、一昨年新型コロナウイルス感染症に対する厳しい防疫措置による販売機会の損失や、その後の日本向け衣料品生産の中国離れなど、コロナ禍の様々な後遺症が続いた上に、同国経済の先行きの不透明感も加わって、当セグメントでウェイトの大きい中国子会社の受注は回復の見られぬ厳しい状況が続きました。これらにより、当期は円安傾向に伴う為替換算レートの影響があったにもかかわらず、当セグメントの売上高は、1,159百万円（前期比6.8%減）となりました。

また、利益面につきましても、製造コスト上昇のなか、販売価格への転嫁が困難であったアジア地域全体の状況に加

えて、中国子会社における販売の低迷と中国の工場稼働率の低下も加わり、セグメント損失は91百万円（前期は49百万円の損失）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3百万円減少し、6,747百万円となりました。これは、主として商品及び製品が131百万円増加したものの、売掛金が82百万円、現金及び預金が52百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて657百万円増加し、4,824百万円となりました。これは、主として有形固定資産が59百万円減少したものの、投資有価証券が613百万円、退職給付に係る資産が101百万円増加したことなどによります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて654百万円増加し、11,572百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて73百万円減少し、601百万円となりました。これは、主として買掛金が94百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて198百万円増加し、978百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が194百万円増加したことなどによります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて125百万円増加し、1,579百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて528百万円増加し、9,992百万円となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が426百万円、退職給付に係る調整累計額が69百万円増加したことなどによります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は1,953百万円となり、前連結会計年度末より20百万円減少いたしました。活動別キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、子会社清算益76百万円（前期は発生額なし）、棚卸資産の増加76百万円（前期は89百万円の減少）、仕入債務の減少111百万円（前期は72百万円の増加）となったものの、税金等調整前当期純利益73百万円（前期は純損失254百万円）、減価償却費をはじめとする非資金項目が214百万円（前期は269百万円）、売上債権の減少101百万円（前期は73百万円の増加）となったことなどにより、111百万円の流入（前期は87百万円）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入が679百万円（前期は458百万円）となったものの、定期預金の預入による支出が639百万円（前期は558百万円）、有形固定資産の取得による支出130百万円（前期は153百万円）となったことなどにより、94百万円の流出（前期は266百万円）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額が68百万円（前期は68百万円）となったことなどにより、71百万円の流出（前期は76百万円）となりました。

（４）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、歴史的な円安水準により、インバウンド需要や輸出関連の企業業績は引き続き好調に推移するものと思われる一方で、あらゆる物を輸入に頼るわが国は、さらなる諸物価上昇が避けられず、消費者の節約志向がさらに拡大することが懸念されるなど、不安定な国際情勢と共にわが国経済の先行きは不透明です。

当社の関連の深いわが国のアパレル・ファッション業界は、節約志向による消費マインドの低下や流通在庫の調整等

で、一部を除いて当面厳しい生産抑制が続くことが予想され、手芸関連業界の節約志向の継続と共に、衣料用、手芸用縫い糸の受注は、当面低迷が続くものと思われます。

さらに、現状の円安水準の継続は、原材料、エネルギー価格を始め、製造コストのさらなる上昇懸念をもたらすなど、中国経済の先行きの不透明感も含めて、当社グループにとりましては、当面は極めて厳しい経営環境が続くものと予想せざるを得ません。

当社グループといたしましては、引き続き成長余地を見据えた中長期の課題に取り組みつつも、喫緊の課題である損失の解消に向けて短期的な営業戦略の練り直し、生産体制の再整備や業務の効率化を早期に進めるなど、事業の再構築を図ってまいります。

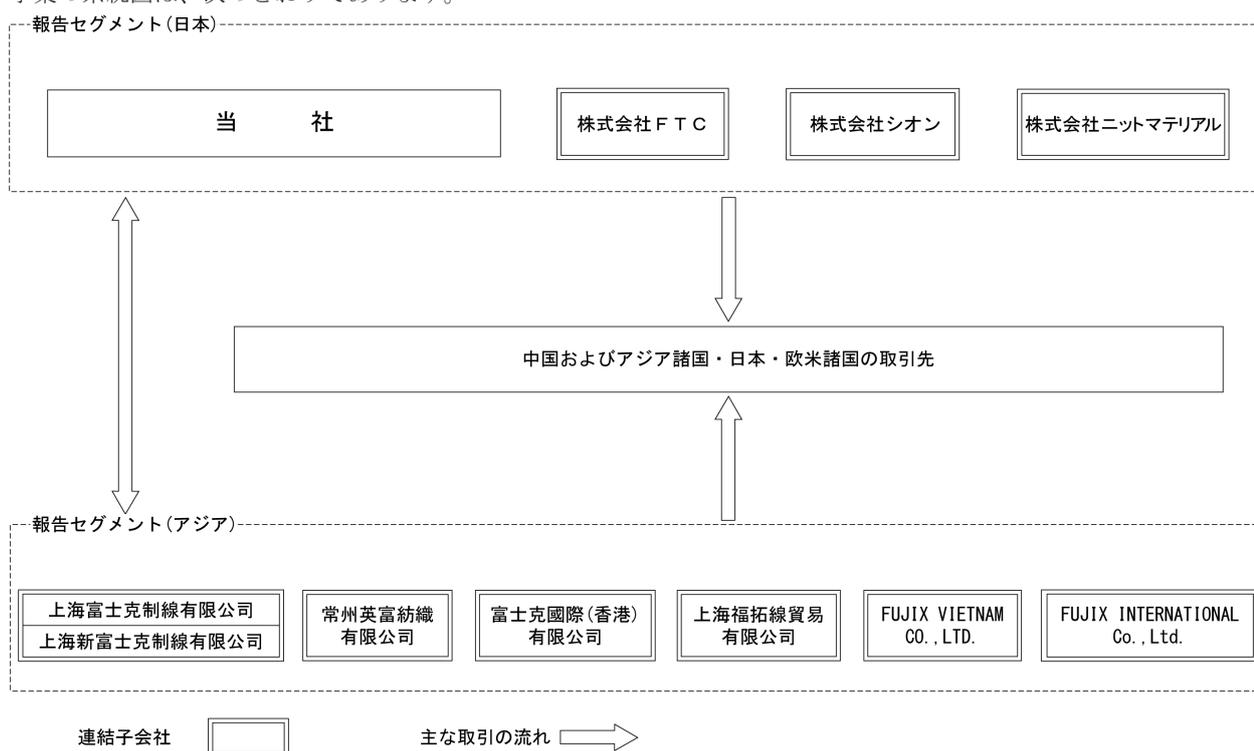
これにより次期の連結業績につきましては、売上高5,711百万円（前期比1.6%減）、営業損失282百万円（前期は115百万円の損失）、経常損失198百万円（前期は6百万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純損失210百万円（前期は90百万円の利益）を予想しております。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社及び連結子会社10社（株式会社FTC、株式会社シオン、株式会社ニットマテリアル、上海富士克制線有限公司、上海新富士克制線有限公司、富士克国際（香港）有限公司、上海福拓線貿易有限公司、常州英富紡織有限公司、FUJIX VIETNAM CO., Ltd.、FUJIX INTERNATIONAL Co., Ltd.）の計11社により構成されており、縫い糸、刺しゅう糸及び手芸用各種糸の製造販売を主な事業とし、日本、中国を主とするアジア諸国及び欧米諸国の市場に向けてグローバルな事業活動を行っております。

なお、連結子会社であった上海富士克貿易有限公司は清算に伴い、連結の範囲から除外しております。

事業の系統図は、次のとおりであります。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成いたします。なお、今後の国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮しながら検討を進めていく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,660,522 | 2,607,834 |
| 受取手形 | 183,066 | 190,897 |
| 電子記録債権 | 229,780 | 226,315 |
| 売掛金 | 942,156 | 860,004 |
| 商品及び製品 | 1,273,067 | 1,404,446 |
| 仕掛品 | 855,603 | 893,590 |
| 原材料及び貯蔵品 | 549,833 | 510,404 |
| その他 | 59,687 | 57,109 |
| 貸倒引当金 | △2,936 | △2,838 |
| 流動資産合計 | 6,750,780 | 6,747,764 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 4,004,664 | 4,083,337 |
| 減価償却累計額 | △2,123,716 | △2,273,276 |
| 建物及び構築物(純額) | 1,880,948 | 1,810,060 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,833,114 | 1,994,391 |
| 減価償却累計額 | △1,587,902 | △1,684,330 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 245,211 | 310,061 |
| 土地 | 369,514 | 369,514 |
| リース資産 | 31,253 | 31,253 |
| 減価償却累計額 | △31,253 | △31,253 |
| リース資産(純額) | — | — |
| 建設仮勘定 | 48,800 | — |
| その他 | 283,143 | 267,527 |
| 減価償却累計額 | △236,854 | △225,613 |
| その他(純額) | 46,288 | 41,913 |
| 有形固定資産合計 | 2,590,762 | 2,531,549 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 207,476 | 219,628 |
| 無形固定資産合計 | 207,476 | 219,628 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,094,977 | 1,708,805 |
| 長期前払費用 | 10,054 | 4,927 |
| 繰延税金資産 | 3,230 | 4,575 |
| 退職給付に係る資産 | 8,849 | 109,913 |
| その他 | 251,641 | 246,518 |
| 貸倒引当金 | — | △1,144 |
| 投資その他の資産合計 | 1,368,752 | 2,073,596 |
| 固定資産合計 | 4,166,992 | 4,824,774 |
| 資産合計 | 10,917,772 | 11,572,538 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 436,217 | 341,318 |
| 未払金 | 101,417 | 104,093 |
| 未払法人税等 | 16,751 | 30,836 |
| 契約負債 | 2,817 | 3,290 |
| 賞与引当金 | 43,843 | 42,465 |
| その他 | 73,179 | 79,116 |
| 流動負債合計 | 674,227 | 601,119 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 462,618 | 657,194 |
| 役員退職慰労引当金 | 226,073 | 226,270 |
| 退職給付に係る負債 | 51,076 | 56,212 |
| 資産除去債務 | 32,788 | 32,788 |
| その他 | 6,934 | 5,958 |
| 固定負債合計 | 779,490 | 978,424 |
| 負債合計 | 1,453,718 | 1,579,544 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 923,325 | 923,325 |
| 資本剰余金 | 771,087 | 771,087 |
| 利益剰余金 | 6,057,393 | 6,078,728 |
| 自己株式 | △109,313 | △109,415 |
| 株主資本合計 | 7,642,493 | 7,663,725 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 412,272 | 838,638 |
| 為替換算調整勘定 | 698,158 | 724,764 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △13,982 | 55,933 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,096,448 | 1,619,335 |
| 非支配株主持分 | 725,112 | 709,933 |
| 純資産合計 | 9,464,054 | 9,992,994 |
| 負債純資産合計 | 10,917,772 | 11,572,538 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 5,742,019 | 5,805,692 |
| 売上原価 | 4,387,894 | 4,353,618 |
| 売上総利益 | 1,354,124 | 1,452,073 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運賃及び荷造費 | 108,392 | 104,934 |
| 広告宣伝費 | 7,414 | 6,072 |
| 販売促進費 | 49,330 | 40,567 |
| 貸倒引当金繰入額 | △194 | 1,058 |
| 役員報酬 | 106,296 | 97,402 |
| 給料及び手当 | 561,528 | 562,917 |
| 従業員賞与 | 64,114 | 56,365 |
| 賞与引当金繰入額 | 26,873 | 24,771 |
| 退職給付費用 | 30,558 | 26,409 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 17,387 | 14,147 |
| 法定福利費 | 95,206 | 92,504 |
| 賃借料 | 49,545 | 47,268 |
| 支払手数料 | 69,697 | 71,170 |
| 旅費及び交通費 | 29,132 | 39,144 |
| 減価償却費 | 71,744 | 71,752 |
| 研究開発費 | 47,174 | 78,185 |
| その他 | 228,221 | 233,330 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,562,422 | 1,568,001 |
| 営業損失(△) | △208,297 | △115,928 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7,862 | 7,468 |
| 受取配当金 | 33,253 | 39,246 |
| 補助金収入 | 32,905 | 32,837 |
| 賃貸料収入 | 24,173 | 24,135 |
| 売電収入 | 9,757 | 9,279 |
| その他 | 13,034 | 14,091 |
| 営業外収益合計 | 120,986 | 127,057 |
| 営業外費用 | | |
| 賃貸料収入原価 | 10,564 | 10,446 |
| 為替差損 | 20,768 | — |
| 売電費用 | 4,488 | 4,034 |
| その他 | 1,123 | 2,748 |
| 営業外費用合計 | 36,944 | 17,229 |
| 経常損失(△) | △124,255 | △6,100 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|--|--|--|
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 549 | 4,634 |
| 子会社清算益 | — | 76,838 |
| 特別利益合計 | 549 | 81,473 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 761 | 67 |
| 固定資産除却損 | 1,576 | 2,215 |
| 減損損失 | 47,694 | — |
| 新型コロナウイルス関連損失 | 80,453 | — |
| 特別損失合計 | 130,486 | 2,282 |
| 税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△) | △254,192 | 73,090 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 23,110 | 41,291 |
| 法人税等調整額 | △26,993 | △25,875 |
| 法人税等合計 | △3,882 | 15,415 |
| 当期純利益又は当期純損失 (△) | △250,309 | 57,675 |
| 非支配株主に帰属する当期純損失 (△) | △61,325 | △32,493 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△) | △188,984 | 90,168 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △250,309 | 57,675 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 144,886 | 426,365 |
| 為替換算調整勘定 | 211,008 | 60,353 |
| 退職給付に係る調整額 | △12,909 | 69,915 |
| その他の包括利益合計 | 342,986 | 556,634 |
| 包括利益 | 92,676 | 614,309 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 109,315 | 613,054 |
| 非支配株主に係る包括利益 | △16,638 | 1,254 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 923,325 | 771,087 | 6,315,211 | △109,313 | 7,900,310 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △68,833 | | △68,833 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | △188,984 | | △188,984 |
| 自己株式の取得 | | | | — | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | △257,817 | — | △257,817 |
| 当期末残高 | 923,325 | 771,087 | 6,057,393 | △109,313 | 7,642,493 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|----------|------------------|-------------------|---------|-----------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 267,385 | 531,836 | △1,073 | 798,149 | 747,348 | 9,445,808 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △68,833 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | | | | | | △188,984 |
| 自己株式の取得 | | | | | | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 144,886 | 166,322 | △12,909 | 298,299 | △22,236 | 276,063 |
| 当期変動額合計 | 144,886 | 166,322 | △12,909 | 298,299 | △22,236 | 18,245 |
| 当期末残高 | 412,272 | 698,158 | △13,982 | 1,096,448 | 725,112 | 9,464,054 |

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 923,325 | 771,087 | 6,057,393 | △109,313 | 7,642,493 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △68,833 | | △68,833 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 90,168 | | 90,168 |
| 自己株式の取得 | | | | △102 | △102 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 21,334 | △102 | 21,232 |
| 当期末残高 | 923,325 | 771,087 | 6,078,728 | △109,415 | 7,663,725 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|--------------|---------------|---------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 412,272 | 698,158 | △13,982 | 1,096,448 | 725,112 | 9,464,054 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △68,833 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 90,168 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △102 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 426,365 | 26,605 | 69,915 | 522,886 | △15,178 | 507,707 |
| 当期変動額合計 | 426,365 | 26,605 | 69,915 | 522,886 | △15,178 | 528,940 |
| 当期末残高 | 838,638 | 724,764 | 55,933 | 1,619,335 | 709,933 | 9,992,994 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△) | △254,192 | 73,090 |
| 減価償却費 | 220,876 | 243,053 |
| 固定資産売却損益(△は益) | 211 | △4,567 |
| 固定資産除却損 | 1,576 | 2,215 |
| 減損損失 | 47,694 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △14,074 | 918 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △4,393 | △1,378 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 6,267 | 197 |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | 12,042 | △31,147 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 799 | 5,136 |
| 受取利息及び受取配当金 | △41,115 | △46,714 |
| 子会社清算損益(△は益) | — | △76,838 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △73,971 | 101,300 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 89,479 | △76,125 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 72,614 | △111,584 |
| その他 | 10,445 | 4,396 |
| 小計 | 74,261 | 81,953 |
| 利息及び配当金の受取額 | 38,744 | 54,458 |
| 法人税等の支払額 | △25,630 | △25,218 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 87,375 | 111,193 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △558,560 | △639,370 |
| 定期預金の払戻による収入 | 458,560 | 679,190 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △153,994 | △130,893 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 637 | 4,567 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △4,642 | △13,641 |
| その他 | △8,131 | 6,021 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △266,130 | △94,126 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | — | △102 |
| 配当金の支払額 | △68,827 | △68,407 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △7,717 | △2,756 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △76,544 | △71,266 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 58,911 | 33,357 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △196,388 | △20,841 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,170,714 | 1,974,326 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,974,326 | 1,953,484 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった上海富士克貿易有限公司は清算に伴い、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象としているものであります。

当社グループは、縫い糸、刺しゅう糸及び手芸用各種糸を生産・販売しており、「日本」においては、当社及び国内連結子会社3社が、「アジア」においては、海外連結子会社7社がそれぞれ担当しております。また、これらの海外連結子会社は、それぞれが相互に連携して、「アジア」の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」及び「アジア」の2つを報告セグメントとしております。

なお、当第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった上海富士克貿易有限公司は清算に伴い、連結の範囲から除外しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成において採用している方法と概ね同一であります。なお、報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 (注) 2 |
|--------------------|-----------|-----------|------------|--------------|------------------------|
| | 日本 | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 4,497,414 | 1,244,605 | 5,742,019 | — | 5,742,019 |
| 外部顧客への売上高 | 4,497,414 | 1,244,605 | 5,742,019 | — | 5,742,019 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 329,322 | 492,690 | 822,012 | △822,012 | — |
| 計 | 4,826,736 | 1,737,295 | 6,564,032 | △822,012 | 5,742,019 |
| セグメント損失(△) | △155,301 | △49,986 | △205,287 | △3,009 | △208,297 |
| セグメント資産 | 8,630,685 | 3,514,549 | 12,145,234 | △1,227,462 | 10,917,772 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 122,628 | 98,248 | 220,876 | — | 220,876 |
| 減損損失 | — | 47,694 | 47,694 | — | 47,694 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 86,028 | 59,403 | 145,432 | — | 145,432 |

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

(2) セグメント資産の調整額は、主にセグメント間消去によるものです。

2 セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 当社グループにおいては、負債に関する情報が最高経営意思決定機関に定期的に提供されず、また使用されていないため、報告セグメントごとの負債の金額の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 (注) 2 |
|--------------------|-----------|-----------|------------|--------------|------------------------|
| | 日本 | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 4,645,984 | 1,159,707 | 5,805,692 | — | 5,805,692 |
| 外部顧客への売上高 | 4,645,984 | 1,159,707 | 5,805,692 | — | 5,805,692 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 286,518 | 680,399 | 966,917 | △966,917 | — |
| 計 | 4,932,503 | 1,840,106 | 6,772,609 | △966,917 | 5,805,692 |
| セグメント損失(△) | △17,086 | △91,730 | △108,816 | △7,111 | △115,928 |
| セグメント資産 | 9,395,812 | 3,395,237 | 12,791,050 | △1,218,511 | 11,572,538 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 142,794 | 100,259 | 243,053 | — | 243,053 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 120,232 | 27,473 | 147,705 | — | 147,705 |

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。
- (2) セグメント資産の調整額は、主にセグメント間消去によるものです。
- 2 セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
- 3 当社グループにおいては、負債に関する情報が最高経営意思決定機関に定期的に提供されず、また使用されていないため、報告セグメントごとの負債の金額の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 6,347円89銭 | 6,743円43銭 |
| 1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) | △137円28銭 | 65円50銭 |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|---|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円) | △188,984 | 90,168 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純損失(△)(千円) | △188,984 | 90,168 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 1,376 | 1,376 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。